

南アフリカ為替週報

2023年4月27日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

＜過去1週間の動き＞

(4月20日～4月26日)

USD/ZAR: 17.9928～18.4560

ZAR/JPY: 7.21～7.45 (参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は下落。もっとも、値動きは対ドルで18.0から18.4の狭いレンジ内に留まっている。ドル円が横ばい圏の動きとなったこともあり、ランドの対円相場はランドの対ドル相場での下落を反映する形で7.45から7.21まで調整している。

過去1週間の材料の中で最も注目を集めたのは、南アフリカ準備銀行(SARB)が4月25日に公表した金融政策報告書である。とりわけ、現在、南アフリカの経済活動を大きく制限する要因となっている電力不足の問題について、供給が制約を受けることなどによって消費者物価指数(CPI)が2023年には追加で0.5%ポイント押し上げられるという見解が示された点は重要である。SARBはこの推計をする際に、計画停電が行われる日数が昨年の157日から今年は250日に増加するという前提を置いている。2022年にはCPIが0.6%ポイント押し上げられた一方、2023年には1.1%ポイントに影響が拡大する見通しだ。市場のインフレ期待はこのところ再び押し上げられているが、電力不足の影響も意識されている公算が大きい。SARBはこうしたインフレ率とインフレ期待の上方スパイラルを抑制するためにも、5月会合で再び50bpの大幅利上げを迫られるという見方が強まっている。SARBの一段の金利引き上げへの期待は、南アランドをサポートする要因となっていよう。

南アを巡っては、同国の国際刑事裁判所(ICC)からの脱退を進める方針だと4月25日にラマポーザ大統領が表明したことも注目を集めた。その後、26日に大統領府は脱退を否定している。南アはICCが逮捕状を出したロシアのプーチン大統領を8月の首脳会議に招待しており、ICCの加盟国としてはプーチン氏の逮捕義務を負うため、対応が焦点となっていた。最終的にはICCからの脱退ではなく、プーチン氏の招待を断念する形で決着するのではないかと、との見方もあるが、当面はこの問題は尾を引く可能性があるだろう。金融市場の観点からはほとんどインプリケーションを持たないものの、南アの外交姿勢の欧米諸国との違いを示す一例であるように感じられる。＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
4/26	10:30	PPI(前年比%)	3月	11.3%	10.6%	12.2%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう1週間の見通し＞

(4月27日～5月3日)

USD/ZAR: 17.50～18.60

ZAR/JPY: 7.10～7.70

向こう1週間の南ア・ランド相場は底堅い展開を予想。理由は先週と同様であり、SARBの大幅利上げ継続への期待に加え、VIX指数の低下に表れているようにグローバルな金融環境が新興国・高金利通貨にとって追い風となっているためだ。もちろん、南アフリカの高金利が「悪い金利上昇」の結果であることは意識する必要があるだろう。景気低迷が続くなか、インフレ加速を抑えるために金融引き締めを継続せざるを得ない状況は、経済に悪影響を与えるリスクが大きく、持続的でない。こうした状況下で同国の金融市場に流入する資金は逃げ足の速い短期資金が中心になると考えられる。米金利上昇・信用不安再燃などをきっかけに市場環境が悪化に転じる際には、ランドの下落は大きくなりやすい点には注意が必要となろう。

＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標等＞

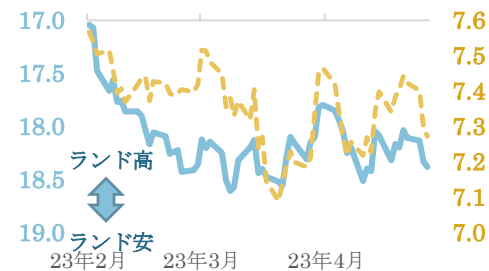
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
4/28	13:00	貿易収支(10億ランド)	3月	18.0b		16.1b
5/2	10:00	製造業PMI	4月			48.1

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

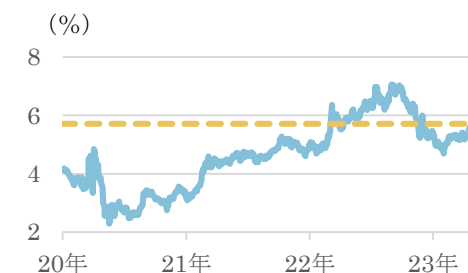
南ア・ランドの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)



5年ブレイクイーブンインフレ率(*)



* 物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。

2か月後金利織り込み(*)



* 2か月後スタート、期間3か月のフォワードレートから、3か月JIBARを差し引いている。

(資料: 南アフリカ統計局/ブルームバーグ)

＜文責＞

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

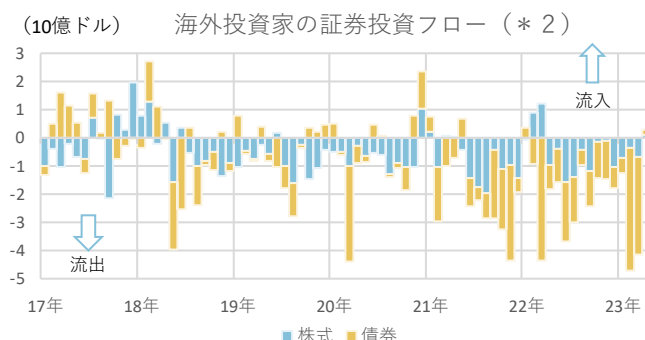
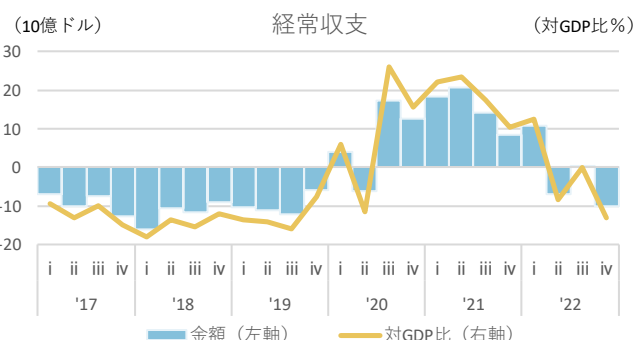
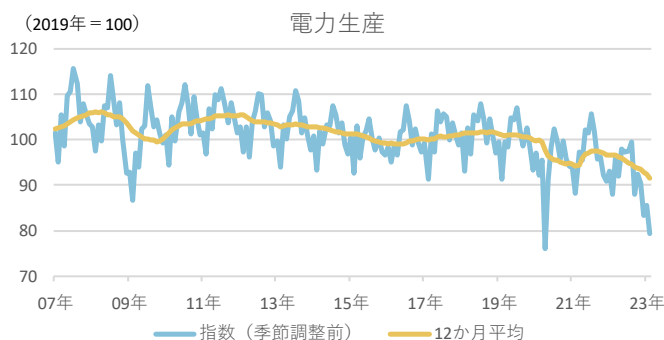
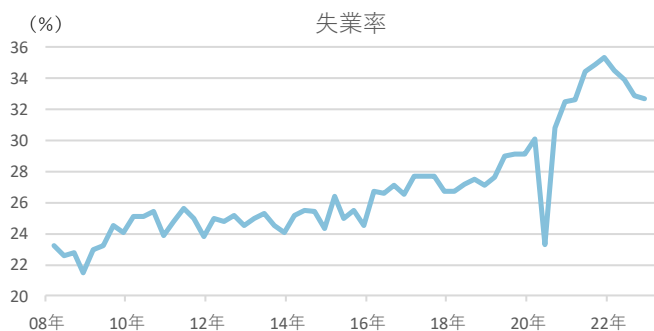
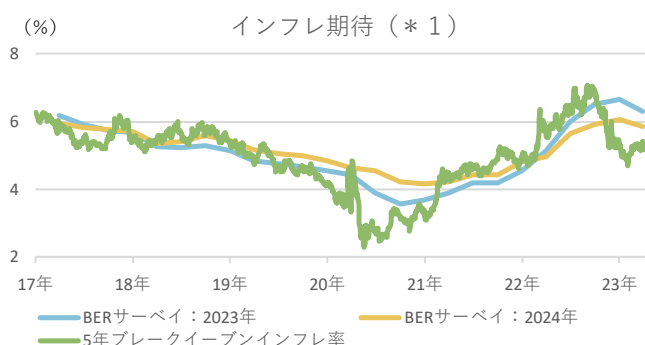
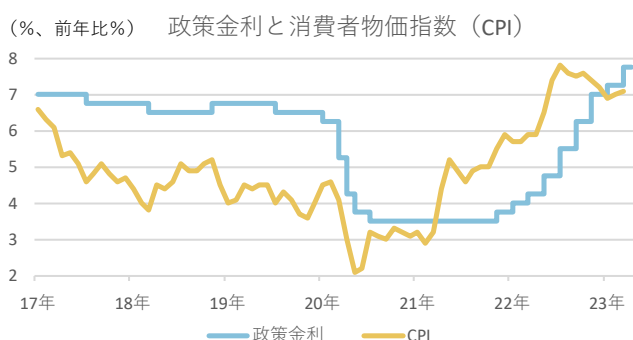
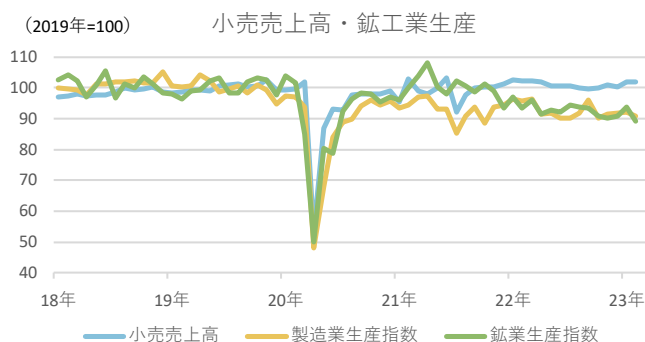
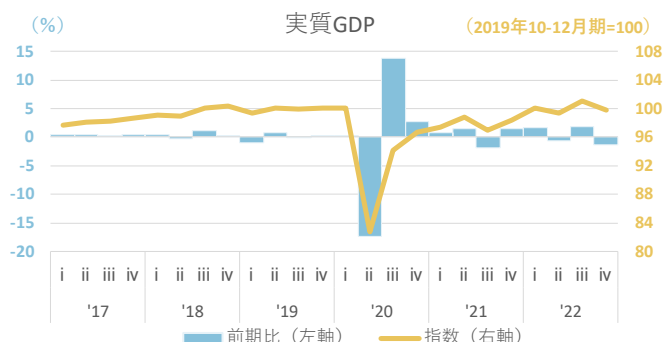
当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

南アフリカ為替週報

2023年4月27日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

<主要経済指標の推移>



* 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。

経済アナリストや企業などが調査対象となっている。

ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。

* 2 : 月次データ。ただし、2023年4月は1日から25日までの累計値。

(資料：南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルグ証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。